

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会議名 令和4年度岐阜工業高等学校 学校運営協議会 (第2回)

2 開催日時 令和4年11月11日(金)

3 開催場所 書面による開催

4 参加者

会長	岩田 勝美	(株)岩田鉄工所 代表取締役
副会長	青木 秀益	地域住民代表
委員	加藤 大武	(株)加藤組 代表取締役
	木下 詩乃	地域住民代表
	駒瀬 典子	羽島更生保護司会サポートセンター センター長
	杉山 明	名古屋鉄道(株) 笠松駅駅長
	勝呂 安範	(株)光製作所 専務取締役
	瀬上 朱里	地域住民代表
	高森 幹啓	育友会会長
	智原 美智子	育友会副会長
学校側	堀 秀樹	校長
	上村 さとみ	事務部長
	小里 靖	副校長
	藤原 竹志	教頭
	浅井 智世	教頭
	阿部 光明	教務主任(全日制)
	高橋 宏幸	教務主任(定時制)
	山口 敦生	生徒指導主事
	前川 隆英	進路指導主事
	草壁 善則	工業教育部長

5 会議の概要 全日制(協議事項)

(1) 学校評価アンケートの結果について

意見1:コロナ禍、アンケートの情報を的確に判断し、生徒と保護者の気持ちを大切にすることができることを行って欲しい。

意見2:保護者へのアンケートで、「1よくあてはまる」が30%以下の項目、および令和3年度と比較し、10%以上評価が低下しているものについて、説明、伝達、活動等、何が問題かを

確認する必要がある。

意見3：学校から保護者、生徒への連絡は、可能な限りメールでよい。

(2) 特色ある取り組みについて

意見1：運動会を観覧した。開催できたことは大変良い。部活動対抗リレーがあればさらに良い。来年も楽しみにしている。

意見2：独自性ある取り組みをしている。今後も継続していただきたい。

意見3：工業高校の特色を大切に、時代に即した取り組みを継続して頂きたい。

意見4：特色ある取り組みの全体像、位置づけ、マニフェストとの関係等が分かりやすい。

意見5：コロナ禍ではあるが、他校との積極的な交流の機会は良い。

(3) 進路支援・部活動について

意見1：部活動への入部は任意であるので、どの部も例年より少ない人数になっているのではないかと。部活動では、授業では学べない、様々な事が学べる。是非、コロナ禍以前のように活気ある部活動に戻って欲しい。

意見2：コロナ禍において、進路選択や部活動は生徒の心を成長させる大切な要素である。先生は、生徒一人一人寄り添い、進路実現に向けて導いて欲しい。

意見3：部活動が活発で、成果を出していることはとても良い。部顧問の指導力の良さが結果に現れている。

意見4：コロナ禍においても、多くの求人があるのはありがたい。また、部活動においても多くの生徒が結果を残しており素晴らしい。

6 会議の概要 定時制（協議事項）

(1) 学校評価アンケートの結果について

意見1：教師の生徒への配慮がある。また、生徒を導き心の支えになっている。生徒の頑張っている様子を嬉しく思う。

意見2：保護者が学校で生徒の様子を見る機会が少ないので、保護者が生徒の学校生活の様子が分かりにくいのはある程度仕方がない。家庭での子供との会話が大切である。

(2) 特色ある取り組みについて

意見1：生徒が有意義な学校生活を送るためにも、特色ある取り組みを継続して欲しい。

意見2：生徒一人一人の意見を大切にしたい。

意見3：ジュニアマイスター金賞・特別表彰者を輩出していることは、頑張っている成果であり素晴らしい。

意見4：資格取得のために、教師がしっかり対応していることが結果につながっている。岐阜工業の強みになっている。

(3) 進路支援・部活動について

意見1：コロナ禍ではあるが、生徒一人一人に配慮してできることから取り組んで欲しい。

意見2：限られた時間の中でも、部活動にしっかり取り組んでいる。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会で、委員から得られた、意見や提言を今後の学校運営にいかしていく。